

編集後記

日本機械学会 技術と社会部門 ニュースレターNo.38の発行にあたり

第96期の広報委員会委員長をさせていただいております福山大学の関根でございます。技術と社会部門におきましては、2017年度にメンバーにさせていただきました初心者ではありますが、何卒宜しくお願い致します。

技術は、本来社会の役に立つために発達してきたものであり、ある技術が生まれた社会的背景を始め、技術と社会の“つながり”について論じることは、とても大切なことと思います。今号では、200回を超えた「イブニングセミナーの四方山話」や、「機械遺産委員を経験して」といった、技術と社会の係り合いについて、掲載いただきましたが、技術と社会のつながりについては、今後も読者の皆様にご紹介していきたいと考えております。

また、弓削商船高専高等専門学校の学生生活や地域や社会との連携などについてもご紹介させていただき内容となりましたが、高等専門学校の「大学とは一味違った魅力」についても、今号以降についても、ご紹介させていただきたいと思っております。

最後に、技術と社会部門のニュースレターは、広報委員会の委員の方々を含め、様々な分野の方々のお力添えをいただきながら、進めていかなければならないものと存じますが、技術と社会の係り合いを基軸とし、出来るだけ魅力的な内容のニュースレターを発信していきたいと考えておりますので、今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。

2018 年度広報委員会委員長 関根 康史 (福山大学).

発行： 一般社団法人 日本機械学会
The Japan Society of Mechanical Engineers
技術と社会部門
部門長 永井 二郎 (福井大学)
事務担当 大橋 江利奈

2018年11月14日発行
ISSN 2185-3177

編集： 第96期 広報委員会
委員長： 関根 康史 (福山大学)
幹事： 高藤 圭一郎 (西日本工業大学)
委員： 筒井 壽博 (弓削商船高等専門学校)
滝谷 俊夫 (Hitz 日立造船)
小宮 聖司 (神奈川工科大)
加藤 義隆 (大分大学)
吉田 敬介 (九州大学)

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.38

(C)著作権:2018 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門